

2016年 10月 24日  
日本船主協会総務部

### 「海賊対処活動に対する感謝の集い」の開催

日本船主協会は、2016年10月24日（月）、海運ビルにおいて、防衛省、海上保安庁その他関係省庁および国会議員など、ソマリア沖・アデン湾での海賊対処活動にご尽力いただいている関係者を招き、「海賊対処活動に対する感謝の集い」を開催しました。

工藤当協会会長は、挨拶の中で海賊対処活動に対する謝意を述べた上、自身のジブチ訪問時の体験談を交えながら「わが国海賊対処活動が始まりはや7年になり、その間約750回の護衛活動により、日本商船隊含め約4,000隻弱護衛頂いた。その結果、ソマリア沖・アデン湾海域における海賊被害の報告は殆どなくなった」等と述べました。

一方、来賓としてご参加頂いた稲田防衛大臣からは、海賊対処活動に関する活動状況や今後の同活動に対する在り方に触れ、「ピーク時は200件を超える海賊事案の発生件数が、現在は極めて低い水準で推移している一方、海賊を生み出す根本的要因であるソマリア国内の貧困は継続しており、海賊による脅威は継続している」との現状認識を示され、「海上輸送を担う船舶の航行安全に万全を期するため引き続き海賊対処活動を実施していく」との言葉を頂きました。

当日は、稲田防衛大臣の他、田中・末松両国土交通副大臣、若宮防衛副大臣、盛山法務副大臣、小林・宮澤両防衛大臣政務官、武井外務大臣政務官、衛藤征士郎海事振興連盟会長、ジブチ共和国特命全権大使 アホメド・アライタ・アリ閣下をはじめとする総勢300名超の方々が参加し海賊対処活動への謝意が防衛省等当局者らに伝えられました。また、2016年ミス日本海の日 杉浦琴乃さんも参加し、アデン湾で現場指揮官を務めた中筋情報本部画像・地理部長および藤本運用司令センター 上席運用官へのインタビューを行っていただき、盛会裡のうちに閉幕しました。



▲工藤当協会会長



▲稲田防衛大臣



▲田中国土交通副大臣



▲盛山法務副大臣



▲武井外務大臣政務官



▲アホメド・アライタ・アリ  
ジブチ共和国大使



▲衛藤海事振興連盟会長



▲ミス海の日によるインタビュー



▲会場の様子